

1. 会合名	「研修編成ワーキング・グループ」 (第1回)
2. 日時	平成24年10月31日(水)午後1時～午後2時30分
3. 議案	<p>1. 平成24年度の研修開催状況等について</p> <p>2. 「幅広く証券界の信頼性向上のための具体的な方策を検討するに際しての会員向けアンケート結果(概要)について(24.10.16)」に寄せられたご意見等について</p> <p>3. 「会員の信頼性向上に向けて取り組むべき諸課題について(24.7.17)」を踏まえた平成25年度研修基本計画(案)の策定について</p> <p>4. その他</p>
4. 主な内容	<p>1. 本ワーキング・グループの設置要綱及び検討事項 事務局より、本ワーキング・グループ(以下、「本WG」という。)の設置要綱及び検討事項について、資料に基づき説明が行われた。</p> <p>2. 平成24年度の研修開催状況等について 事務局より、「平成24年度研修基本計画」及び「平成24年度上半期の研修開催実績等」について、資料1に基づき説明が行われた。</p> <p>(主な意見等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修開催実績を見ると任意研修の一部について受講者が少ない。協会員は協会の研修について期待感を持っていると思うが、それに対してどこまで協会が応えられるのかを本WGで議論し、もっと協会の研修を受講してもらえることについて検討すべきだと考える。 <p>3. 「幅広く証券界の信頼性向上のための具体的な方策を検討するに際しての会員向けアンケート結果(概要)について(24.10.16)」に寄せられたご意見等について 事務局より、「幅広く証券界の信頼性向上のための具体的な方策を検討するに際しての会員向けアンケート結果(概要)」について、資料2-1及び2-2に基づき説明が行われた。</p> <p>(主な意見等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果を見ると、各社が従業員個人の法令等に対する理解や意識を高めるための施策はルール及び制度等だけでは限界があるため、継続して研修を着実に実施するしかないと考えているように思う。 <p>4. 「会員の信頼性向上に向けて取り組むべき諸課題について(24.7.17)」を踏まえた平成25年度研修基本計画(案)の策定について 事務局より、資料3に基づき説明が行われた後、「『倫理』意識の醸成及び法令・諸規則等コンプライアンス研修の充実に向けた対応」について検討することとなり、その検討結果を平成25年度研修基本計画案に盛り込むこととした。 また、「協会員における社内研修の充実等に向けた対応」については、今後、各委員からの意見を集約した上で、次回以降の本WGで検討することとなった。</p>

	<p>(主な意見等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当社の社内研修では、既存の研修の枠内で「倫理」に関するテーマを取り上げて行っているが、一方で営業責任者向けの社内研修において、わかりやすさを求めて「倫理」を単独のテーマとして掲げている。テーマとして独立させた方がわかりやすい。 ・任意研修であると受講者が限定されてしまうので義務研修で行った方が良いのではないか。テーマとして独立させることにこだわらず、時間配分を考え、既存の研修の枠組みの中で「倫理」をテーマに研修を行うことで定着させる方法を検討すべきである。 ・経営状況が厳しい中、有料の「倫理」研修を企画しても受講者は少ないと思う。既存の研修の中で「倫理」をテーマに研修を行い、定着させる方法を検討すべきである。 ・倫理醸成の必要があるのは利潤を追求する営業部門であり、営業部門にコンプライアンス意識を根付かせるべきである。 ・既存の研修テーマの中に「倫理等」について設定し、特に経営者層に理解を深めてもらう対応が必要だと考える。 ・協会の受講者参加型研修を通してインストラクターが養成できれば各社の社内研修に役立つのではないか。
5. その他	※本議事要旨は暫定版であり、今後、内容が一部変更される可能性があります。
6. 本件に関する問い合わせ先	研修部 (03-3667-8552)